

中心市街地まちづくり検討特別委員会  
報 告 書

令 和 4 年 3 月 定 例 会

春 日 部 市 議 会  
中心市街地まちづくり検討特別委員会



## 中心市街地まちづくり検討特別委員会における審査の経過と結果について

中心市街地まちづくり検討特別委員長

山 崎 進

中心市街地まちづくり検討特別委員会は、令和3年12月定例会において、中心市街地まちづくり計画の対象地域における、持続可能なまちの賑わいの創出の実現について、調査研究することを目的として設置され、「①鉄道高架事業、新本庁舎建設、旧商工振興センター跡地活用、中央一丁目再開発事業等に係る諸課題の把握について、②中心市街地の活力を維持するための方策等について、③その他中心市街地まちづくり計画の対象地域に関することについて」の3つの調査項目が付託されました。

このたび、この中心市街地まちづくり検討特別委員会の設置期間内における調査項目の審査が終了しましたので、下記のとおり報告いたします。

### 記

1. 中心市街地まちづくり検討特別委員会の設置経過について
2. 中心市街地まちづくり検討特別委員会の開催状況について
3. 付託案件に関する調査結果と参考意見について
4. まとめ

# 1. 中心市街地まちづくり検討特別委員会の設置経過について

## (1) 設置目的

第2次春日部市総合振興計画における、まちの将来像「つながる にぎわう すまいるシティ 春日部」を実現するため、「人々が集い、にぎわいのある快適なまち」を目指し、本市では様々な大規模事業が進められています。

このような中で、中心市街地まちづくり計画の対象地域における、持続可能なまちの賑わいの創出の実現について、調査研究することを目的として設置しました。

## (2) 設置期間

令和3年12月2日から概ね4か月間

## (3) 委員構成

委員は9人とし、新政の会3人、前進かすかべ。未来の会2人、公明党2人、日本共産党2人としました。

## (4) 中心市街地まちづくり検討特別委員会委員

委員長	山崎進
副委員長	小久保博史
委員	卯月武彦
同	石川友和（令和3年12月15日まで）
同	今尾安德
同	佐藤一
同	鬼丸裕史（令和3年12月15日から）
同	山口剛一
同	木村圭一
同	武幹也

## 2. 中心市街地まちづくり検討特別委員会の開催状況について

開催日	会議名	審議事項
R3. 12. 2	第1回特別委員会	・委員長、副委員長の互選について
R3. 12. 15	第2回特別委員会	・本特別委員会の進め方について ・閉会中の特定事件について
R3. 12. 24	第3回特別委員会	・県議会への要望活動について
R4. 2. 8	第4回特別委員会	・中心市街地まちづくりについて
R4. 2. 25	第5回特別委員会	・最終報告書（案）について
R4. 3. 14	第6回特別委員会	・最終報告書（案）について

## 3. 付託案件に関する調査結果と参考意見について

この中心市街地まちづくり検討特別委員会には、「①鉄道高架事業、新本庁舎建設、旧商工振興センター跡地活用、中央一丁目再開発事業等に係る諸課題の把握について、②中心市街地の活力を維持するための方策等について、③その他中心市街地まちづくり計画の対象地域に関することについて」の3つの調査項目が付託されました。

以下は、本特別委員会において協議を行った各調査結果と主な参考意見を集約したものです。

### **第1回特別委員会**

令和3年12月2日に第1回特別委員会を開催しました。この特別委員会は、令和3年12月定例会において、中心市街地まちづくり計画の対象地域における、持続可能なまちの賑わいの創出の実現について、調査研究することを目的として設置されました。今後は、付託された3つの調査項目について審議していきます。

#### **〔委員長、副委員長の互選について〕**

本会議で選任された委員の中から委員長及び副委員長の互選を行いました。

## **第2回特別委員会**

令和3年12月15日に第2回特別委員会を開催しました。

### **〔本特別委員会の進め方について〕**

本委員会における今後の進め方について、執行部への状況確認説明を求める協議を行いました。

### **〔閉会中の特定事件について〕**

議会の閉会中に特別委員会が開催できるよう手続きを行いました。

## **第3回特別委員会**

令和3年12月24日に第3回特別委員会を開催しました。

### **〔県議会への要望活動について〕**

県議会に対して、要望活動を実施するため要望内容の意見交換を行いました。

#### **《主な意見》**

- ・埼玉県にとっての春日部市の位置づけについて、記載したほうがよいのではないか。
- ・鉄道高架工事期間中の東西自由通路について、記載したほうがよいのではないか。

## **第4回特別委員会**

令和4年2月8日に第4回特別委員会を開催しました。

### **〔中心市街地まちづくりについて〕**

春日部駅付近連続立体交差事業及び春日部市中央一丁目地区市街地再開発事業の現状などについて、執行部からの説明が行われました。また、今後においても、中心市街地まちづくりについて執行部との情報共有を図るため協力依頼をしました。

## **第5回特別委員会**

令和4年2月25日に第5回特別委員会を開催しました。

### **〔最終報告書（案）について〕**

これまでの議論を集約した「中心市街地まちづくり検討特別委員会報告書（案）」について説明がされ、各自持ち帰りの上、確認し、次回の委員会において修正の必要な箇所等を報告してもらうことになりました。

## **第6回特別委員会**

令和4年3月14日に第6回特別委員会を開催しました。

### **〔最終報告書（案）について〕**

「中心市街地まちづくり検討特別委員会報告書（案）」について、意見等を求めたところ、意見等はなく了承され、議長に報告することとなりました。

## 4. まとめ

中心市街地まちづくり検討特別委員会は、令和3年12月の設置後、中心市街地まちづくり計画の対象地域における、持続可能なまちの賑わいの創出の実現について、調査研究することを目的に、4か月にわたり協議を行ってきました。

この間、中心市街地まちづくりについて、執行部から説明を受けるなどして情報を収集するとともに、中心市街地まちづくりについて協議を行い、埼玉県議会に対し、要望書を提出しました。

当委員会の設置から概ね4か月が経過し、これをもって期間内の審査を終了しますが、春日部市では、中心市街地の賑わいや新たな価値を創出するなど、魅力ある中心市街地の形成に向け、春日部駅付近連続立体交差事業と一体となったまちづくりや市街地再開発事業の検討、環状道路の整備を進めていることから、春日部駅付近連続立体交差事業の早期完成、市街地再開発事業や都市計画道路袋陣屋線をはじめとする街路整備事業等のより一層の推進を期待し最終報告とします。

## 各種関係資料等

○令和4年度埼玉県予算等に対する要望についての  
参考資料（令和4年1月6日提出分） …… [ 7 ページ]

○令和4年度埼玉県予算等に対する要望について（回答） …… [ 9 ページ]

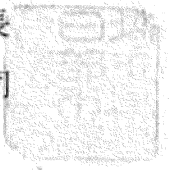




春議発第530号  
令和4年1月6日

埼玉県議会  
東武アーバンパークライン  
利便性向上促進議員連盟  
会長 小島 信昭 様

春日部市議会議長  
栗原 信司



令和4年度埼玉県予算等に対する要望について

厳寒の候、貴職におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素より、本市の施策の推進に対し、格別のご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、春日部市議会では、この度、本市の中心市街地まちづくりにとって極めて整備効果の高い春日部駅周辺中心市街地整備の円滑な事業推進に向けて、中心市街地まちづくり検討特別委員会を組織し検討を行っております。

つきましては、令和4年度埼玉県予算に、本市の要望を反映させていただきたく、貴連盟にお力添えをお願いしたいと存じます。

お忙しいところ誠に恐縮でございますが、特段のご高配、ご尽力を賜りたくお願い申し上げます。

## 令和4年度埼玉県予算に対する要望

(件名) 春日部駅周辺中心市街地整備の推進について  
(春日部駅付近連続立体交差事業・市街地再開発事業・街路整備事業)

(要望理由)

春日部市は、都心から35キロメートル圏、埼玉県の東部に位置し、首都圏における交通の要衝となっています。

特に、春日部駅は、東武スカイツリーライン（伊勢崎線）と東武アーバンパークライン（野田線）が結節し、1日に約7万人が乗り降りする重要な駅であります。

この利便性が春日部駅周辺市街地の形成に大きく貢献する一方、鉄道が中心市街地を分断しているまちの構造は、円滑な道路交通の阻害や環境の悪化を招くとともに、商業・業務活動の活性化に多大な支障をきたしております。

また、お年寄りや車椅子の方またはベビーカーを押している方などにとって、現在の踏切や線路下の地下道は、中心市街地の東西を安全に往来できるものではありません。

こうした中、春日部駅付近連続立体交差事業の事業主体であります埼玉県におかれましては、事業化に向けた調査・検討を進めていただき、令和2年1月には東武鉄道株式会社と施行協定を締結し、現在、事業用地の取得等に取り組んでいただいておりますが、工事期間中における東西自由通路の確保についても、ご検討いただきますようお願い申し上げます。

また、春日部市では、中心市街地の賑わいや新たな価値を創出するなど、魅力ある中心市街地の形成に向け、連続立体交差事業と一体となったまちづくりや市街地再開発事業の検討、環状道路の整備を進めております。

つきましては、春日部駅付近連続立体交差事業の早期完成、市街地再開発事業や都市計画道路袋陣屋線を始めとする街路整備事業等の推進について切に要望いたします。



令和4年3月1日

春日部市議会議長 栗原 信司 様

埼玉県議会東武アーバンパークライン  
利便性向上促進議員連盟  
会長 小島 信昭



「令和4年度埼玉県予算等に対する要望」  
に対する回答について

早春の候、貴職におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

本議員連盟の活動に対し、日頃より格別の御協力を賜り誠にありがとうございます。

さて、令和4年1月6日付け春議発第530号にて御要望いただきました標記の件につきまして、別紙のとおり御回答申し上げます。

令和4年度埼玉県予算等に対する要望について

県土整備部

要 望 項 目	
<p>(件名) 春日部駅周辺中心市街地整備の推進について (春日部駅付近連続立体交差事業・市街地再開発事業・街路整備事業)</p>	
対 応 状 況 等	
<p>東武鉄道伊勢崎線・野田線連続立体交差事業（春日部駅付近）につきましては、伊勢崎線東側の用地取得と、工事の際に必要な土地の借地を優先的に進めております。工事につきましては、東武鉄道が令和3年10月に駅東口の仮駅舎工事に着手いたしました。また、工事期間中における東西自由通路の確保につきましては、富士見町地下道の活用を含め検討を進めております。</p> <p>今後も、東武鉄道や春日部市と連携を図りながら事業を推進してまいります。</p> <p>都市計画道路袋陣屋線につきましては、用地取得のための測量や物件調査を実施しております。今後は、用地取得等を進めてまいります。</p>	
連続立体交差事業費	2,317,000千円
街路整備費	2,094,819千円(※)
街路改良事業費	2,094,223千円(※)
<p>(※) この金額は、街路整備費・街路改良事業費の総額を示したものです。 都市計画道路袋陣屋線の予算は、総額の一部となります。</p>	

令和4年度埼玉県予算等に対する要望事項に対する対応状況等

市町村名 春日部市

都市整備部

要 望 項 目
(都市整備部関係) 春日部駅周辺中心市街地整備事業について (春日部駅付近連続立体交差事業・市街地再開発事業・街路整備事業)
対 応 状 況 等
市街地再開発事業は、地域の防災性の向上を図るとともに、個性豊かな魅力あふれる市街地の整備を進める事業であることから、今後も支援に努めてまいります。